

令和7年度宮崎市ティーンズ会議

魅力ある「宮崎市フェニックス自然動物園」 / 「フローランテ宮崎」とは？



宮崎市フェニックス自然動物園



経営理念 「市民に愛され市民の憩いの場となる自然動物園」

昭和46年 フェニックス国際観光(株)が県内の人たちに気軽に動物を見る場所を提供することを目的に開設。

平成13年 宮崎市営となり、動物や自然に対する知識と愛護意識を深める場、市民の憩いの場として設置。



動物園の4つの役割

種の保存

教育・環境教育

調査・研究

レクリエーション

開園時間 : 9:00~17:00 (毎週水曜日は休園日)

入園料 : 大人¥840・中学生¥420・小学生¥310

面積 : 約13.9ha

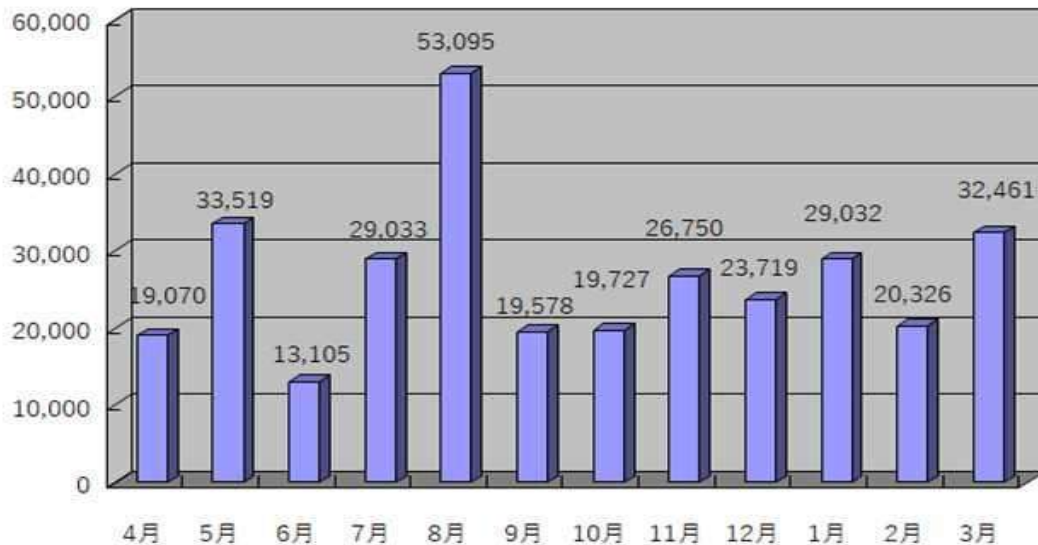
飼育動物 : 約90種1000点

宮崎市フェニックス自然動物園

現在、動物園ではリニューアル計画を検討中！！
ティーンズにとって「魅力的な動物園」とは？

- どういう機能、空間があると魅力的？
- 若者が訪れたい動物園にするには？
- 何歳になっても、何度も訪れたい動物園とは？

令和6年度月別総入園者数



MIYAZAKI CITY PHOENIX ZOO GUIDE MAP

宮崎市フェニックス自然動物園 ガイドマップ



フローランテ宮崎

「花のまちづくりの推進拠点」として、市民や観光客が四季折々に花と共にある生活を楽しめ、多彩なイベントが催される、都市緑化植物園の機能をもつ都市公園。

平成11年に開催された**「第16回全国都市緑化みやざきフェア」**の主会場の一部として整備され、**平成12年4月にオープン**。「シーガイア」や宮崎市の「市民の森」などからなる阿波岐原森林公園の一部。

開園・閉園時間：09:00～17:00
入園料：大人¥310・小人¥150
面積：5.1ha



宮崎のものは やっぱ、うまい

地鶏



黒田：初めての地鶏の感想は、「何だ？鉄板に乗ってるこの黒い物体は!？」でも食べてみたらかみ応えがあって、味があって、見た目とのギャップがあり過ぎるおいしさでした。

釜揚げうどん



黒田：こんな食べ方は宮崎だけではないでしょうか。
小淵：甘いツユもおいしいし、大好きで取り寄せて食べています。

レタス巻き、チキン南蛮



小淵：宮崎にはおいしいものとおいしいものを混ぜるといって、混ぜ文化があると思います。18歳で大阪に出て、食事のときにご飯の上でいろいろ乗せていたら気味悪がられました。おいしいものを組み合わせるともっとおいしくするなんて、幸せな人の思考です。



景色は昔から変わらず宮崎にしかない自然の景色なのでしょう。

黒田 この町は、自然が素晴らしいので人が優しい場所だと思います。それは大阪や東京では味わえない「宮崎ならでは」です。青島神社におみくじを引きに行ったとき、あの海のギザギザ、鬼の洗濯板の景色に驚いたし、とても感激しました。きっとあの景色は昔から変わらず宮崎にしかない自然の景色なのでしょう。

こどものくに



海、砂浜、川など自然の地形を生かして造られた「こどものくに」は、今年で開園79周年。パークゴルフやバラ園、椿園など家族で楽しみながら散策できます。少年時代に小淵さんが遊んだ園内とは様変わりしましたが、青島地区の憩いの場として今も多くの人が集います。

黒田：以前、夜の「こどものくに」でライブの打ち上げをしておいしいものをいただきました。
小淵：子どもの頃、わあ！行ける！とテンションが上がる天国みたいな場所でした。ペダルを足で踏んで水を飛ばす乗り物や大きなドラム缶のような遊具で遊んでいました。

橋公園



大淀川の北側、ホテル街の正面にロンブル(赤と白、青と白のストライプのテント)が並ぶ公園があります。小淵さんが高校生の頃、大淀川沿いのこの場所が通学路でした。

小淵：友達と学校帰りに待ち合わせをした思い出の場所が『朝顔』の歌詞に出てきます。大淀川の堤防は高校生のときに通学路で使っていたので毎日通っていました。デビュー後、堤防でインタビューを受けたこともあり懐かしい場所です。

若草通り商店街



中心市街地のアーケード街で個性的な店舗が多く、オシャレに敏感な若者が集まる場所です。小淵さんが高校時代にストリートライブを行ったり、学校帰りに友達とおしゃべりやショッピングを楽しんだ店がいくつもありました。

小淵：ここにいるだけで幸せを感じていました。行けば誰かに会えたり、蜂蜜饅頭で友達とハチミツレモンかき氷を食べてわいわいしたり。甘味処の華屋さん、洋服屋の鈴丹、三信衣料、クリッパーズ、今はなくなってしまったけれど懐かしいです。ちなみに蜂蜜饅頭は黒あん派ね。
黒田：回転焼きね。俺、あんこ苦手なんです。

ここにしかない景色の中 温かな人たちが暮らす町

小淵 故郷を離れて思うのは、町は人がつくっているということ。道路や街並みが少しずつ変化していく中、住んでいる人はそのまま「変わらない良さ」を貫いている感じがここにはあると思います。僕は帰ってくるたびに、この町が「変わらない良さ」を保ってくれていること、変わらず温かく迎えてくれる故郷に生まれたことに幸せを感じています。

黒田 この町は、自然が素晴らしいので人が優しい場所だと思います。それは大阪や東京では味わえない「宮崎ならでは」です。青島神社におみくじを引きに行ったとき、あの海のギザギザ、鬼の洗濯板の景色に驚いたし、とても感激しました。きっとあの景色は昔から変わらず宮崎にしかない自然の景色なのでしょう。

コブクロの歩き方

小淵健太郎さんが生まれ育ったこの町には、コブクロの名曲が生まれた原風景があります。私たちが普段、何気なく過ごしている景色の中に「あの歌」が生まれた思いが見つかるかもしれません。



2001年3月17日、メジャーデビュー（同年3月22日）直前のフローランテ宮崎でのライブの様子

後田川緑道公園



中心市街地を流れる後田川を地下水路化し、東は日の出町の県立宮崎海洋高校付近から、西は永楽町の宮崎市立宮崎中学校付近まで延びる緑道公園として生まれ変わりました。小淵さんは登下校や母との散歩などで子どもの頃から大変親しんでおり、この道の景観が『薔』『ペテルギウス』『ここにしか咲かない花』『あなたへと続く道』など多くの曲にイメージされています。

黒田：小淵の話聞いて、どんなとこかな？と想像しています。

小淵：朝は背中に朝日を浴びながら、夕方は背中に夕日を浴びながら真っすぐな影を映して歩いた道です。遊び場、部活のトレーニングなど思い出だらけでモチーフになっている曲がたくさん。どんな町に行っても出会えない場所です。

フローランテ宮崎



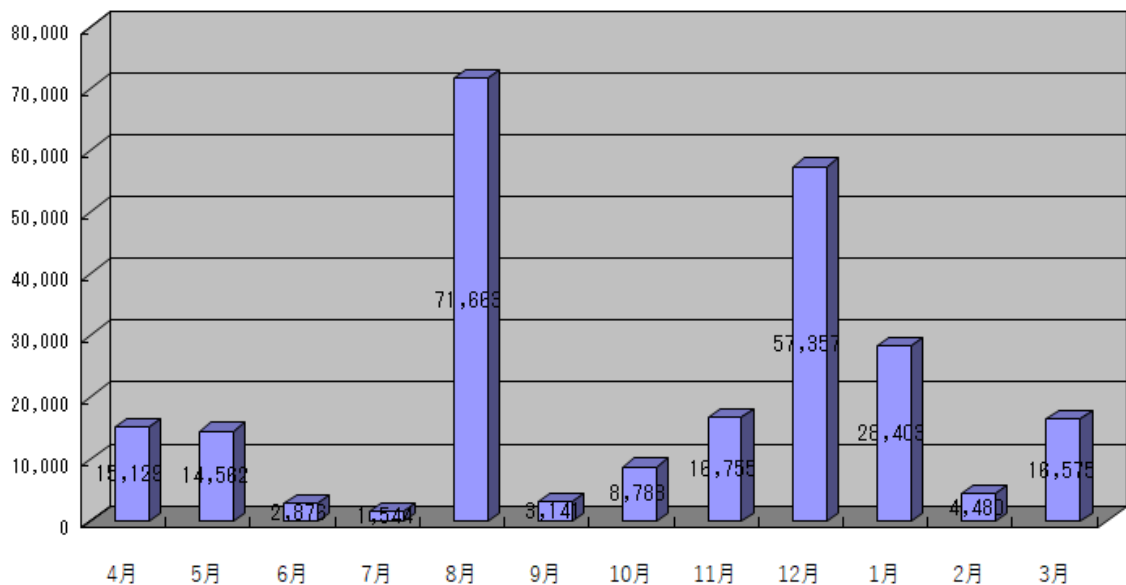
四季折々の花が美しい植物公園で、年間を通しさざまなイベントが開催されています。メジャーデビュー直前に開催されたライブは、当時の拠点、大阪からファンがマイクロバスで駆け付けたこと、黒田さんが小淵さんの大阪での活動を思い涙したことなどから伝説とされています。

黒田：ライブのあと、楽屋にテンガロンハットをかぶったパンチのあるおじさんが入ってきたのですが、小淵のおじさんでした。

小淵：父や母の民謡の師匠でもあった、すごい人なんです。

フローランテ宮崎

R6年度月別総入園者



フローランテ宮崎では、年間通して様々なイベントが開催されます。

- 春 春のフローラル祭 (3~5月)
- 夏 グルメとランタンナイト (8月)
- 秋 秋のフローラル祭 (10~11月)
- 冬 イルミネーション (12~1月)

イベント中には多くの入園者がありますがそれ以外の月には入園者が少ない現状があります。

市民共有の財産である「フローランテ宮崎」



ティーンにとって
将来的にも魅力的な
「フローランテ宮崎」とは？

